



整備の概要

経過

東日本大震災により被災した中心市街地である大船渡駅周辺地区の再生に向け、市では津波復興拠点整備事業を活用し、平成25年度より盛土工事などによる市街地の整備を進めてきました。

防災観光交流センターは、津波防災拠点施設（防災）および津波復興拠点支援施設（交流）としての2つの性質を有しています。

津波が発生した際、高台に逃げ遅れた人の一時避難場所として、また、平常時には、人や活動を結びつける「交流の場」、津波災害の教訓を後世に伝える「学びの場」および大船渡の魅力発信する「観光交流の場」として、平成28年10月に建設工事に着手し、平成30年3月に工事が完了しました。

施設の概要

1階は、市内の観光や物産情報を発信する観光交流施設、

2階には、多目的室や会議室、和室、自習スペース、スタジオ、授乳室、東西の入口を横断するコラボストリートを配置しています。

利用者のニーズの変化に対応できるように、可動式の壁や間仕切りを多用し、多目的室や和室などの分割活用を可能にしています。

3階は、災害時は一時避難場所として、平常時には展望デッキとしての活用を想定しています。

今後について

本施設は、指定管理者が運営を行い、多くの人に利用していただけるよう、多彩な取



整備状況（平成30年2月時点）

り組みを進めていきます。また、施設の完成に合わせ、4月28日には第3期まちびらきを開催するなど、大船渡駅周辺の商業街区と連携を図りながら、にぎわい創出に向けた取り組みを進めていきます。

屋上

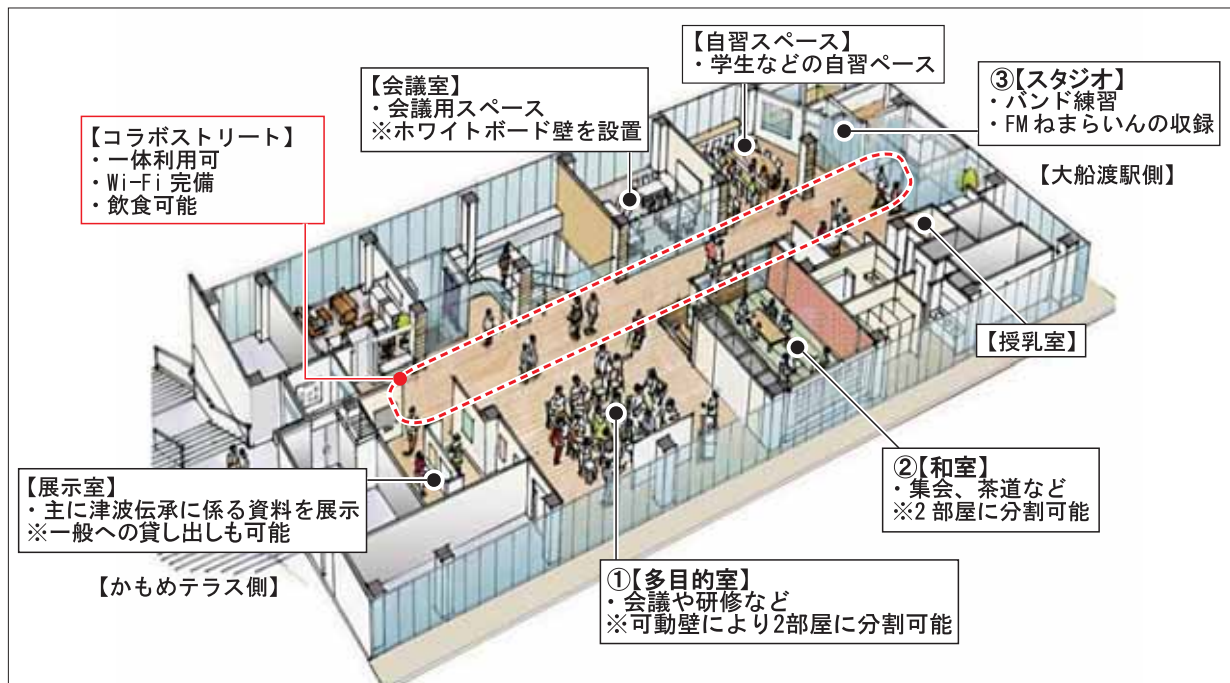


▷3階デッキ



▷屋上広場

2階



①多目的室



②和室



③スタジオ

1階



▷観光案内施設



▷ピロティ